

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年2月12日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年2月12日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【J1タンクエリアにおけるタンク連結弁のシート漏えいについて】 J1タンクエリアにおける配管取替え作業においてタンク連結弁のシート漏えいを確認。 閉止板にて止水処置を実施。	GⅢ	2月6日
2	【プラントデータ伝送装置における伝送不良について】 プラントデータ伝送装置において伝送不良表示が発報。 これによりホームページ掲載のリアルタイムデータが欠落。 原因を調査中。	GⅢ	2月5日
3	【廃棄物一時保管テントにおける作業員の負傷について】 廃棄物一時保管テントの開閉作業において、作業員が移動の際に足を滑らせて転倒し、右肩を負傷。	GⅢ	2月7日
4	【2号機タービン建屋滞留水水位計の指示変動について】 2号機タービン建屋滞留水の気泡式水位計の(B)系設備を取替え作業時に(A)系の水位指示値が変動。 調査の結果、(A)系側の空気流量が増加していることを確認し、空気流量の再調整により指示値は復旧。 この間、2号機タービン建屋滞留水水位は他の水位計などにより監視を継続。 空気流量の変動原因を調査中。	GⅢ	2月7日